

南九州大学人間発達学部子ども教育学科子どもの学び研究所の取り組み概要

人間発達学部子ども教育学科子どもの学び研究所担当 赤松 國吉
宮内 孝
春日 由美
趙 雪梅

I はじめに

子どもの学び研究所は、本学部開設準備を進めていた平成21年度、子どもの学び研究室として先行開設し、人間発達学部子ども教育学科が開設された平成22年度から子どもの学び研究所として活動を継続している。活動を開始後5年目となる活動について経過をまとめる。

II 活動の具体

1 研究員の活動

研究員の活動は、月1回、16:30~18:00までの1時間30分、子どもの学び研究所にて実施することを原則としている。以下、平成24年度の取り組みの概要である。

(1) 主な研究内容

① 学部と連携拠点学校園との連携の内容、在

り方について

- ② 本学部学生の研究発表等への指導
③ 本学学生への指導的立場からの活動

年間3回、各40分、現在連携学校園においてリアルタイムで行われている教育活動の現状を、学生との対談の中で紹介し、学生の学問及び研究に対する視点が、常に教育現場の今日的課題から遊離することのないよう促す。加えて、教育現場の研究員から学ぶ姿勢を学生に身に付けさせることをねらいとして行う。

- (2) 学部と連携拠点学校園との連携の内容、在り方の具体

本年度の学部と連携拠点学校園との具体的な連携については、平成22年度からの基本姿勢を継続しながら「子ども支援地域活動」において学生に

平成25年度 子どもの学び研究所としての取り組み

月 日	曜日	主 な 研 究 活 動 内 容
5月28日	火	研究員委嘱状交付式・第1回研究員会議（研究員及び大学側関係教員紹介・計画立案について）
6月18日	火	第2回研究員会議 第3学年学生とのグループ別対談
7月30日	火	第3回研究員会議 第2学年学生とのグループ別対談（連携の具体的な進め方について）
10月11日	金	第4回研究員会議 上野 健爾先生（京都大学名誉教授） 岡本 和夫先生（東京大学名誉教授） 亀井哲治郎先生（数学・理工学系編集企画・亀書房代表） 上記3名の先生との対談
11月5日	火	第5回研究員会議 小学校教育実習に臨む実習生の模擬授業の指導 幼稚園教育実習に臨む実習生の模擬保育の指導
12月10日	金	第6回研究員会議 上海師範大学語学研修体験発表2年生学生3名、 東 貴秋・温水 礼子・黒木 静香 語学研修の成果を発表についての指導
1月27日	月	第7回研究員会議 第1学年学生とのグループ対談
2月25日	火	第8回研究員会議 本年度の研究の総括及び次年度の研究及び連携の方向について

具体的に携わらせることを原則とすることとした。ねらいは、小学校及び幼稚園並びに保育の場に学生が参加し、子どもを支える地域の活動に参加することを通して、子どもの地域に果たす役割を実践的に理解し、それを支える活動の意味を把握させ、学部の講義で学んだことを単なる知識として終わらせるのではなく、実践的な力へと発展させることである。

平成22年度が活動の開始年度として連携の基本的な事柄が整備された年として位置付けられるのに加えて、平成23年度は連携活動を拡大し平成24年度・25年度は、連携活動がより円滑化した年として位置付けられる。

以下、本年度の連携活動の実際を、三股西小学校との連携を例として述べる。

期日	曜日	時間	内容
5月20日	月	14:30～16:30	教育実習Ⅰ事前訪問 3年生2名（黒木彩恵、畝原和也）の学生が訪問校長先生ほか指導教員の先生及び配当学級の児童との挨拶・面談・交流
5月21日	火	16:30～17:30	観察実習事前訪問 2年生5名（多良祐希、竹中皓平、長埜愛緒唯、西丸紘市、吉永麻梨奈）の学生が訪問、校長先生ほか指導教員の先生との面談
5月29日 ～ 5月31日	水 金	8:00～17:00	観察実習として5名の学生が実習を実施 1年3組安藤佐和子教諭の御指導：多良祐希 1年5組黒木 昌枝教諭の御指導：竹中皓平 2年1組弓削 洋子教諭の御指導：長埜愛緒唯 2年3組平田 淑江教諭の御指導：西丸紘市 3年3組佐藤 恵巳教諭の御指導：吉永麻梨奈 ※ 5月31日 9:30～11:30まで担当教員として赤松國吉が訪問して校長他関係職員と面談 ※ 3年生2名・黒木彩恵、畝原和也の事前指導の場にも活用
5月30日	木	10:00～12:20	5年2組平田智希教諭師範授業 国語教科の授業公開：「世界でいちばんやかましい音」 観察実習の一環として実施して下さった授業をVTRに録画 3年生2名：黒木彩恵、畝原和也の学生の事前指導を兼ねる。
7月2日	火	11:00～15:00	教育実習Ⅰ事前訪問 3年生2名（黒木彩恵、畝原和也）の学生が訪問校長先生ほか指導教員の先生及び配当学級の児童との挨拶・面談・交流
7月9日	火	11:00～15:00	教育実習Ⅰ事前訪問 3年生2名（黒木彩恵、畝原和也）の学生が訪問校長先生ほか指導教員の先生及び配当学級の児童との挨拶・面談・交流
9月13日	木	16:30～17:30	教育実習Ⅰ事前訪問 3年生1名（畝原和也）の学生が訪問校長先生ほか指導教員の先生及び配当学級の児童との挨拶・面談・交流
9月26日	木	16:30～17:30	教育実習Ⅰ事前訪問 3年生2名（黒木彩恵、畝原和也）の学生が訪問校長先生ほか指導教員の先生及び配当学級の児童との挨拶・面談・交流
10月5日	土	8:00～17:00	教育実習Ⅰ事前訪問 3年生2名（黒木彩恵、畝原和也）が運動会の準備の手伝いとして参加する。
10月6日	日	7:30～17:00	教育実習Ⅰ事前訪問 運動会当日 3年生2名（黒木彩恵、畝原和也） 大学側からは春日由美准教授が訪問し、学生の激励と校長へ挨拶
10月22日	火	10:00～12:00	教育実習Ⅰ事前訪問 3年生2名（黒木彩恵、畝原和也）の学生が訪問校長先生ほか指導教員の先生及び配当学級の児童との挨拶・面談・交流

期日	曜日	時間	内 容
10月30日	水	9:50~11:45	<p>幼保小連携交流活動のサポート支援活動 目的：子ども支援地域活動をととして、幼保小連携について知るとともに、交流活動において、交流活動が充実するための支援をしたり園児や児童の様子、教員(教諭・保育士)の指導法を観察する。</p> <p>① 挨拶・打合せ・事前準備 ② サポート支援活動 1年1組 行田真由美教諭補助 中村 健太 安藤 彩乃 1年2組 福留 里香教諭補助 小田 拓也 坂東 里夏 1年3組 安藤佐和子教諭補助 相良 祐貴 久保 文乃 1年4組 児玉 典子教諭補助 福重 未来 甲斐ゆうみ 1年5組 黒木 昌枝教諭補助 菅原 幸一 宮内 優花</p> <p>③ 活動の後始末及び挨拶</p>
11月11日 ~ 11月29日	月 金	7:50~17:00	<p>教育実習Ⅰ 2年2組：黒木彩恵 指導教員：福添佳栄子教諭 6年3組：畝原和也 指導教員：鹿嶋美由紀子教諭</p> <p>※ 11月29日の畝原(道徳)と黒木(算数)の研究授業には、2年生学生：多良祐希、竹中皓平、假屋陽平、田形遼、西丸紘市の5名と 大学担当教員赤松國吉が参加し、学生の授業をVTR録画するとともに授業参観を実施</p>
12月2日	月	7:50~ 9:00	<p>教育実習Ⅰ事後訪問 3年生2名(黒木彩恵、畝原和也)の学生が訪問 最終的に仕上げた教育実習日誌の提出と校長及び関係職員への挨拶</p>

(2) 都城市との共催事業の実施

この事業は、本学部趙雪梅講師が構想を練り、本学部子どもの学び研究所と都城市が共同主催する形の事業として実施始めて4年目を迎える事業である。平成23年度は経済協力開発機構の実施するOECD生徒の学習到達度調査PISAにおいて好

成績で名高いフィンランドから2名の講師を招い

て実施したが、平成24年度は特別支援教育にスポットを当てて実施し、平成25年度は数学教育にポイントを当てて開催した。

以下、実施概要である。

期日	曜日	時間	内 容
10月11日	金	16:30~18:00	<p>子どもの学び研究所研究員との懇談会 子どもの学び研究所研究員等12名との座談的懇談会 テーマ「数学好きの子どもを育む教育について」 上野 健爾先生(京都大学名誉教授) 岡本 和夫先生(東京大学名誉教授) 亀井哲治郎先生(数学・理工学系編集企画・亀書房代表) 本学部担当教員 黒木哲徳、宮内孝、趙雪梅、赤松國吉</p>
10月12日	土	13:30~16:30	<p>都城市・南九州大学人間発達学部子どもの学び研究所主催市民講座 第4回教育上シンポジウム「学力向上」 テーマ： 数学の世界をのぞいてみよう</p> <p>①13:30 受付開始 ②13:50 歓迎の挨拶 南九州大学 長谷川二郎学長 都城市役所 野村 秀雄副市長</p> <p>③13:30~15:00 講演1 「数学をどう学ぶか」 講師 上野健爾 京都大学名誉教授</p> <p>④13:30~15:00 講演2 「数学の文化と歴史について」そのⅠ 講師 黒木哲徳 本学教授 講師 亀井哲治郎 亀書房代表</p>

		<p>⑤15:00～16:30 講演3 「数学を楽しもう」 講師 岡本和夫 東京大学名誉教授</p> <p>⑥13:30～15:00 講演4 「数学の文化と歴史について」そのⅡ 講師 黒木哲徳 本学教授 講師 亀井哲治郎 亀書房代表</p> <p>16:30 閉会挨拶</p> <p>※参加者 一般社会人・高校生 約70名 学生 子ども教育学科学生年生役50名 受付・準備等役割分担 子ども教育学科1年生赤松ゼミ 3名 (中村健太、坂東里香、東 貴秋・仙波幸恵・本田晴香・橋谷伊織) 本学部教員 4名 合計130名を超過参加者</p>
--	--	---

(3) 平成25年度 免許状更新講習会実施報告

① 必修領域<教育実践と教育改革>

◇日時 平成25年8月5日(月)～6日(火)

◇場所 南九州大学都城キャンパス

◇参加者 35名

② 選択領域<気がかりな子どもの支援>

◇日時 平成25年8月2日(金)

◇場所 南九州大学都城キャンパス

◇参加者 40名

(4) 中国上海師範大学との連携

昨年度、上海師範大学との交換留学生についての協定締結を行い、本年度も2年生学生3名が

6週間の語学研修に参加した。具体的には次の通りである。

(5) テクニカルレポートの発行

子どもの学び研究所では、本学部教員が研究し

た論文等をテクニカルレポートとして発行している。平成21年度からこれまでの累積は次の表の通りである。

2 今後の展望及び課題

本学部及び小学校並びに幼稚園が相互の連携協力を深め、お互いの研究や資質向上を目指し、教育現場と大学がそれぞれの立場や角度から学びあいながら相互の連携の在り方についての研究及び人間の発達や育ちに関する研究を進めることをねらいとして活動を開始して5年を経過する。

本年度は、昨年度途中において曾於市教育委員会とも連携関係協定を締結したこともあって、小学校教育実習Ⅱにおける実習校として曾於市教育委員会のご協力もいただいた。

未来に向けては、都城及び三股町そして曾於市を含むこの地域の教育現場の教員や学生そして大学関係者が、互いの垣根を低くして実践研究を協働し、この地域の教育の核となるような取り組みへと活動を拡大することを究極のねらいとしている本研究所の取り組み、少しずつ、着実な成果が

期 間	研 修 場 所	学 年	参加学生氏名
平成24年7月9日(月)～8月17日(金)	上海師範大学対外漢語学院	2	福岡 栞
		2	山元 華絵
		2	早田 彩夏
平成25年7月13日(土)～8月24日(土)	上海師範大学対外漢語学院	2	東 貴秋
		2	温水 礼子
		2	黒木 静香

番号	論文等のタイトル	発行期日	教員名
1	小学校社会科教育に関する教材開発集・社会科編第1号 小学校社会科5年生の教科教育に位置付けた平成17年台風14号	H21. 9.30	赤松 國吉
2	小学校社会科教育に関する教材開発集・社会科編第2号 小学校社会科教育において児童の主体的な学びを促す実践研究	H21.10.30	赤松 國吉
3	現代社会と道德教育 —「市民教育としての道德教育」の提唱—	H21.11.30	澁澤 透
4	子どもたちのいまと子育てについて考える —自己肯定感を高める子育てに向けて—	H22. 1.30	澁澤 透
5	大学における子育て支援の現状と課題	H22. 3. 1	春日 由美
6	子どもの年齢による子育ての悩みの差異に関する一考察 —乳幼児から中学生の保護者への質問紙調査を通して—	H22. 3.25	春日 由美
7	子どもの内発的興味関心を喚起し、能動的に調査活動に取り組む 小学校社会科の教材開発—平成18年台風13号による宮崎県延岡市の被害—	H23. 3.25	赤松 國吉
8	教師と保護者との関わりに関する文献的研究	H23. 3.31	春日 由美
9	小学校6年生「電子メディアと心身の発達を考える」授業実践報告	H23. 3.31	宮内 孝
10	「大正新教育における学校図書館の理論と実践に関する一考察」	H23. 3. 31	國枝 裕子
11	今後の子どもの遊びの在り方を考えるための一考察	H24. 3.26	宮内 孝
12	内発的興味関心を喚起する学習問題の設定	H24. 3.31	赤松 國吉
13	単元の展開・構成の在り方についての一考察	H25. 3.25	赤松 國吉
14	ボールを捕る動きを引き出す教材づくりのための準備的一考察	H25. 3.29	宮内 孝

生まれようとしている。

今後、本学部と学部を取り巻く地域との関わりの中で、どのように連携を図りながら、組織化を促し、研究を結実していくか着実な歩みの中から生み出していきたいものである。

3 研究員名簿及び大学側関係教員名簿

整理番号	平成21年度			平成22年度		
	連携学校園名	職名	氏名	連携学校園名	職名	氏名
1	天竜幼稚園	教諭	上原 睦子	天竜幼稚園	教諭	上原 睦子
2	天竜第二幼稚園	教諭	北園由美子	天竜第二幼稚園	園長	荒武 公治
3	天竜第三幼稚園	教諭	川野あや子	天竜第二幼稚園	教諭	北園由美子
4	天竜祝吉幼稚園	教諭	田実 美幸	天竜第三幼稚園	教諭	川野あや子
5	都城市立南小学校	教諭	西村浩一郎	天竜祝吉幼稚園	教諭	田実 美幸
6	都城市立東小学校	教諭	田爪 隆敏	都城市立南小学校	教諭	鶴山 匡文
7	都城市立上長飯小学校	教諭	田中 美充	都城市立東小学校	教諭	大久保 修
8	都城市立祝吉小学校	教諭	甲斐 千恵	都城市立上長飯小学校	教諭	田中 美充
9	三股町立三股小学校	教諭	細山田和彦	都城市立祝吉小学校	教諭	渡邊 政彦
10	三股町立三股西小学校	教諭	二宮 聡	三股町立三股小学校	教諭	細山田和彦
11				三股町立三股西小学校	教諭	二宮 聡

赤松・宮内・春日・趙：南九州大学人間発達学部子ども教育学科子どもの学び研究所の取り組み概要

整理 番号	平成 23 年 度			平成 24 年 度		
	連携学校園名	職名	氏 名	連携学校園名	職名	氏 名
1	天竜幼稚園	教諭	上原 睦子	天竜幼稚園	教諭	上原 睦子
2	天竜第二幼稚園	園長	荒武 公治	天竜第二幼稚園	園長	佐々木慈舟
3	天竜第二幼稚園	教諭	北園由美子	天竜第二幼稚園	教諭	北園由美子
4	天竜第三幼稚園	教諭	川野あや子	天竜第三幼稚園	教諭	川野あや子
5	天竜祝吉幼稚園	園長	大坪 文二	天竜祝吉幼稚園	園長	大坪 文二
6	天竜祝吉幼稚園	副園長	佐々木慈舟	天竜祝吉幼稚園	教諭	田実 美幸
7	天竜祝吉幼稚園	教諭	田実 美幸	都城市立南小学校	教諭	新島 浩光
8	都城市立南小学校	教諭	鶴山 匡文	都城市立東小学校	教諭	池田 佳弘
9	都城市立東小学校	教諭	大久保 修	都城市立上長飯小学校	教諭	田中 美充
10	都城市立上長飯小学校	教諭	田中 美充	都城市立祝吉小学校	教諭	川崎 史郎
11	都城市立祝吉小学校	教諭	中村 辰郎	三股町立三股小学校	教諭	土田 史典
12	三股町立三股小学校	教諭	細山田和彦	三股町立三股西小学校	教諭	二宮 聡
13	三股町立三股西小学校	教諭	二宮 聡			

整理 番号	平成 25 年 度		
	連携学校園名	職名	氏 名
1	天竜幼稚園	教諭	上原 睦子
2	天竜第二幼稚園	園長	佐々木慈舟
3	天竜第二幼稚園	教諭	北園由美子
4	天竜第三幼稚園	教諭	山城 隆子
5	天竜祝吉幼稚園	園長	大坪 文二
6	天竜祝吉幼稚園	教諭	田実 美幸
7	都城市立南小学校	教諭	新島 浩光
8	都城市立東小学校	教諭	池田 佳弘
9	都城市立上長飯小学校	教諭	佐藤須三郎
10	都城市立祝吉小学校	教諭	浅井 俊博
11	三股町立三股小学校	教諭	土田 史典
12	三股町立三股西小学校	教諭	鹿嶋美由紀

整理 番号	平成 21 年 度			平成 22 年 度		
	大 学 学 部 名	職名	氏 名	大 学 学 部 名	職名	氏 名
1	南九州大学環境造園学部	教授	長谷川二郎	南九州大学環境造園学部	教授	長谷川二郎
2	南九州大学教養・教職センター	教授	黒木 哲徳	南九州大学人間発達学部	教授	黒木 哲徳
3	南九州大学教養・教職センター	教授	赤松 國吉	南九州大学人間発達学部	教授	赤松 國吉
4				南九州大学人間発達学部	准教授	宮内 孝
5				南九州大学人間発達学部	助手	趙 雪梅

整理 番号	平成23年度			平成24年度		
	大学学部名	職名	氏名	大学学部名	職名	氏名
1	南九州大学環境造園学部	教授	長谷川二郎	南九州大学教養・教職センター	教授	長谷川二郎
2	南九州大学人間発達学部	教授	黒木 哲徳	南九州大学人間発達学部	教授	黒木 哲徳
3	南九州大学人間発達学部	教授	赤松 國吉	南九州大学人間発達学部	教授	赤松 國吉
4	南九州大学人間発達学部	准教授	宮内 孝	南九州大学人間発達学部	准教授	宮内 孝
5	南九州大学人間発達学部	准教授	春日 由美	南九州大学人間発達学部	准教授	春日 由美
6	南九州大学人間発達学部	講師	大崎 裕子	南九州大学人間発達学部	講師	大崎 裕子
7	南九州大学人間発達学部	助手	趙 雪梅	南九州大学人間発達学部	助手	趙 雪梅

整理 番号	平成25年度		
	大学学部名	職名	氏名
1	南九州大学教養・教職センター	教授	長谷川二郎
2	南九州大学人間発達学部	教授	黒木 哲徳
3	南九州大学人間発達学部	教授	赤松 國吉
4	南九州大学人間発達学部	教授	宮内 孝
5	南九州大学人間発達学部	准教授	春日 由美
6	南九州大学人間発達学部	講師	大崎 裕子
7	南九州大学人間発達学部	講師	趙 雪梅